

To Our Shareholders

株主の皆様へ



2020年8月
代表取締役社長

細谷和俊
Kazutoshi Hosoya

1. 決算概要

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、減収減益となりました

このたびの新型コロナウイルス感染症により被害を受けた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当中間期は、前期から続く米中貿易摩擦の影響に加え、第2四半期に感染拡大が本格化した新型コロナウイルス感染症の影響により世界経済が停滞し、企業活動における設備投資が大幅に減速いたしました。当社計測器の需要も大きな影響を受け、記録装置、電子測定器の売上高が前年同期比を大幅に下回る厳しい結果となりました。

こうした状況下ではありますが、自動試験装置など5G関連の設備投資が増加、遠隔計測技術を用いた現場測定器な

新たな社会課題に対し、
最適なソリューションを
ご提供できる体質への変革を
引き続き進めてまいります。

どインフラ整備用途の需要が底堅く推移いたしました。

また、eコマースによる販売も広がりつつあるなど、コロナ禍における柔軟な事業推進とともに、従来注力している自動車、電子部品、バッテリー市場等の投資回復に備えた取り組みを推進してまいりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、当社では社員の感染防止への対策を講じるとともに、お客様への納入責任を果たすべく、サプライチェーンの確保、操業維持のための体制構築に努めてまいりました。

この新型コロナウイルス感染症の発生を機に、働き方ははじめ、産業構造自体の変化も加速している只中ですが、改めて社会から必要とされ続ける企業となるために、新たな社会課題に対し、最適なソリューションをご提供できる体質への変革を引き続き進めてまいります。

2. 通期業績予想と取り組み

業績回復に向け邁進いたします

新型コロナウイルス感染症の終息は未だ不透明であり、影響拡大の見通しが困難なことから、6月5日に2020年通期の業績予想を取り下げ、未定といたしました。

世界経済への打撃は大きく、回復には時間を要するとみえておりますが、下期は予定している新製品の開発、生産性向上の施策を推進するとともに、環境の変化に応じた新たな生産、販売スタイルを取り入れながら、業績回復に向け全社一丸となって邁進してまいります。

なお、通期見通しにつきましては、今後合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 配当について

業績回復による利益向上を目指します

当中間期は、業績低迷により、前回予想より利益が減少する見込みとなったため、第2四半期末配当を前回予想比20円減の20円に修正させていただきました。また、2020年12月期の通期連結業績予想を未定とすることから、期

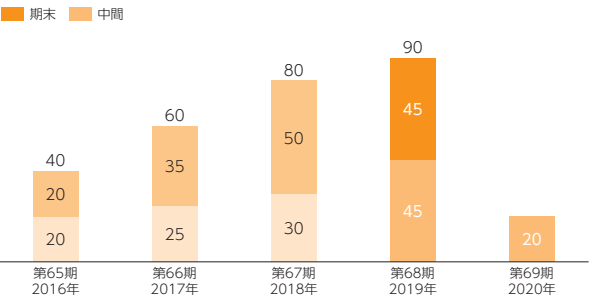
末配当につきましても、未定とさせていただきます。

株主の皆様には、ご期待に添えず大変申し訳ございませんが、早期の業績回復、利益向上を目指し取り組んでまいりますので、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年12月期 連結業績予想（2020年6月修正）

売上高	未定	前期比	—
営業利益	未定	前期比	—
経常利益	未定	前期比	—
親会社株主に帰属する当期純利益	未定	前期比	—

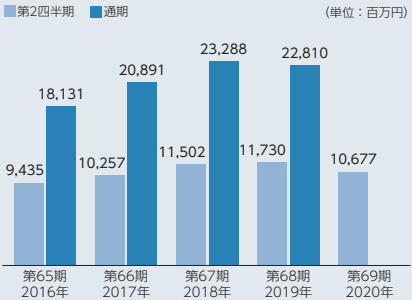
1株当たりの配当金の推移（単位：円）



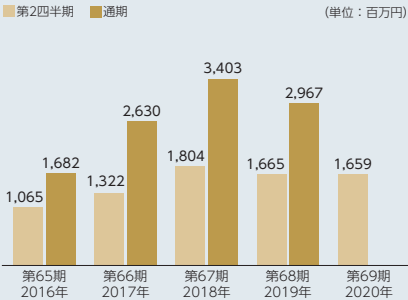
決算ハイライト

本中間報告書に記載の金額は、表示単位未満は切捨て、比率は四捨五入により表示しております。

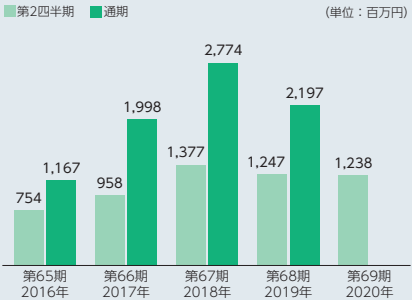
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



Close-up

取り組み紹介

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた対応

当社では、お客様やお取引先様および社員とその家族の安全確保と新型コロナウイルス感染症の拡大防止を最優先にしつつ、お客様への納入責任を果たすべく、以下の対応をいたしました。

勤務、業務形態

- ・公共交通機関の使用制限、出張原則禁止
- ・国内営業拠点や販売子会社、間接部門を対象に在宅勤務や時差出勤を実施
- ・ITツールの活用（Web会議、デジタルマーケティング）
- ・社内感染のリスクを低減するため部門別に動線を分離（社員レストラン会場の分散、専用エレベーターを運用）

地域社会

- 現場で日々奮闘されている皆様の支援を目的に、医療用マスクを寄付いたしました。
- ・本社：近隣の福祉施設へ2万枚
 - ・HIOKI USA：地元の行政（ボランティア団体、病院）へ1万枚

今後も各方面から情報収集を行い、随時必要な対応を実施してまいります。



Web朝礼の様子（HIOKI USA）



昼食時は間隔をあけ同方向を向いて着席

第68期定期株主総会を開催

2月27日（木）、日置電機（株）本社にて開催いたしました。今回は株主の皆様にもご協力いただき、新型コロナウイルス感染防止に配慮した体制で運営いたしました。



1. 運営スタッフ・役員のマスク着用
 2. 懇親会の中止
 3. 株主の皆様へマスク着用と消毒液使用を依頼
- 株主総会には、153名の株主の皆様にご出席いただき、すべての議案が可決されました。
- 今後も、よりよい株主総会の開催を心がけてまいります。

漏れ電流試験器で貢献

新型コロナウイルス感染症の影響で人工呼吸器や人工心臓装置、体外式模型人工肺（ECMO）など医療用機器の製造、検査が増えております。

人命に関わる大切な医療用機器の品質を保証するための安全試験器として当社の「漏れ電流試験器ST5540」が活用されております。

信頼性の高い測定器で安心安全な医療の提供に貢献してまいります。



Topics

トピックス



はさみやすい形状と新機能で漏電探査時間を半分にACリーククランプメータCM4001を発売

5月に小型タイプの交流漏れ電流計「ACリーククランプメータCM4001」を発売いたしました。測定部の形状を改良したことで、狭くて複雑な電気配線を簡単にはさめるようになり、安全かつスピーディーな測定が可能になりました。さらに、設定した漏れ電流判定値と測定値の比較結果を音と光で知らせる新機能（コンパレータ機能）により、漏電探査時間を従来機の半分に短縮できます。CM4001はお客様の安全と作業効率アップに貢献いたします。



狭い配線もラクラク測定



米国連結子会社の本社移転 アメリカ市場の販売体制を強化

2月に米国連結子会社（HIOKI USA CORPORATION）の本社をニュージャージー州からテキサス州ダラスに移転し、営業を開始いたしました。同地は営業エリアである北米・南米をカバーできる利便性が高い都市であり、より顧客に密着した営業活動が可能になりました。

さらに、自動車産業の中心地であるミシガン州デトロイトエリアに新たにオフィスを開設いたしました。テキサス州の本社、カリフォルニア州オフィス、ミシガン州オフィスを中心にアメリカ市場の販売体制強化をはかります。



米国連結子会社が入居するビルの外観



電気計測器で初のセレクション賞受賞 JIDAデザインミュージアムセレクション

電流センサ「AC/DCカレントセンサCT6877」が、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会（JIDA）による「JIDAデザインミュージアムセレクション vol.21 2019年」において、セレクション賞を受賞いたしました。お客様の要望に応える計測器であることと同時に、その機能にふさわしいデザインであり、さらに人々のくらしや社会をより豊かにする製品であることもあわせて評価されました。

今回の受賞は当社初であると同時に、電気計測器として初の受賞となります。

JIDAデザインミュージアム：歴史的に価値があると認められるインダストリアルデザインの作品を所蔵、展示、保存するためのミュージアム。



複数電線をまとめて測定できる大口径が特長

Consolidated Financial Statements

連結財務情報

四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産	15,882	16,528
固定資産	12,081	11,772
有形固定資産	10,642	10,477
無形固定資産	408	370
投資その他の資産	1,030	924
資産合計	27,963	28,301
負債の部		
流動負債	1,963	1,760
固定負債	878	892
負債合計	2,841	2,653
純資産の部		
株主資本	24,979	25,643
その他の包括利益累計額	142	4
純資産合計	25,122	25,648
負債純資産合計	27,963	28,301

四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (2019年1月1日から 2019年6月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2020年1月1日から 2020年6月30日まで)
売上高	11,730	10,677
売上原価	6,472	5,853
売上総利益	5,258	4,823
販売費及び一般管理費	3,605	3,232
営業利益	1,652	1,590
経常利益	1,665	1,659
税金等調整前四半期純利益	1,675	1,656
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,247	1,238

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (2019年1月1日から 2019年6月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2020年1月1日から 2020年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,619	1,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△830	△363
財務活動によるキャッシュ・フロー	△680	△612
現金及び現金同等物に係る換算差額	△74	△55
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	33	640
現金及び現金同等物の期首残高	8,504	9,223
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,538	9,864

シリーズ 働き方改革③

「プラチナくるみん認定」を取得ー優良な子育てサポート企業として認定ー

2020年6月、次世代育成支援対策推進法に基づき、優良な子育てサポートを行っている企業として、厚生労働大臣より「プラチナくるみん認定」を受けました。

「プラチナくるみん認定」とは、子育て支援企業を認定する「くるみん認定」をすでに取得し、さらに高い水準の取り組みを行った企業が受けられる特例認定制度です。

当社は「人間性の尊重」の企業理念のもと、社員が生き生きと働ける環境づくりを推進しております。2018年2月に「くるみん認定」を受けており、今回は積極的に男性社員の育児休暇取得や柔軟な働き方の推進、女性社員が活躍できる環境づくりに取り組んだ結果、認定を受けました。

引き続き、子育てサポートとともに、社員が働きがいを感じながらその能力を十分に発揮し、安心して働ける職場環境づくりを推進してまいります。



仕事も子育ても充実

主な認定基準と当社の達成状況（2019年12月31日現在）

・男性の育児休業取得率 ・女性の育児休業取得率
基準13% → HIOKI 14% 基準75% → HIOKI 100%

当社ホームページのご案内

最新の製品情報、IR情報、CSR・環境活動への取り組みなどをご覧いただけます。スマートフォンにも対応し、より便利になりました。



HIOKI

検索



Facebook (SNS) 「Hioki Japan」のご案内

Facebookページではホームページに載せきれない情報やトピックス、楽しい雑学などをお届けしています。



Hioki Japan facebook

検索



決算説明会開催

2月13日(木)、都内にて機関投資家様向けの決算説明会を開催しました。毎年2回、都内で開催しており、20～50名ほどの機関投資家様が来場されます。今後は個人投資家様向けの説明会なども検討してまいります。



HIOKI祭り中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10月17日（土）に開催を予定しておりました「HIOKI祭り」を中止とさせていただきます。

楽しみにしてくださった皆様には誠に申し訳ございませんが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

